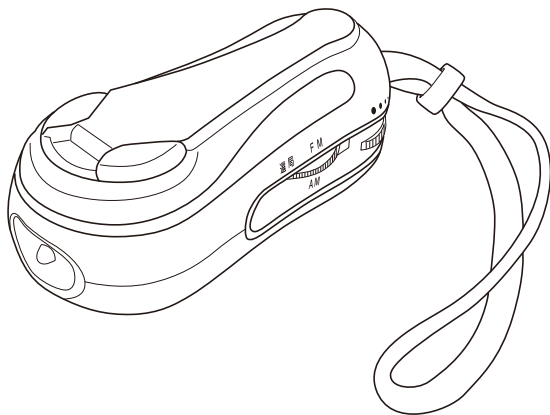


ミニダイナモラジオライト

取扱説明書



このたびは「ミニダイナモラジオライト」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。

※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

1 基本機能

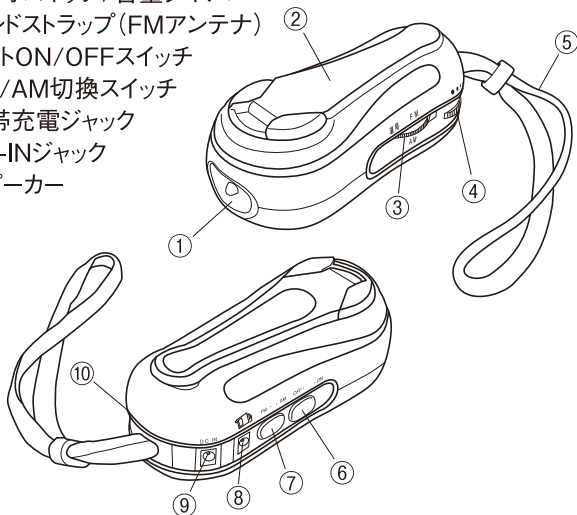
- LEDライト(白色1灯)
- AM/FMラジオ
- ダイナモハンドル
- 携帯電話充電

2 電源

- 内蔵ニッケル水素電池(Ni-MH、3.6V/120mAh)
- AC/DCアダプター(別売り)

3 各部名称

- ① LEDライト
- ② ダイナモハンドル
- ③ FM/AM選局ダイヤル
- ④ ラジオスイッチ/音量ダイヤル
- ⑤ ハンドストラップ(FMアンテナ)
- ⑥ ライトON/OFFスイッチ
- ⑦ FM/AM切換スイッチ
- ⑧ 携帯充電ジャック
- ⑨ DC-INジャック
- ⑩ スピーカー

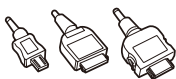


4 付属品

- 携帯充電ケーブル
- 携帯接続コネクタ
 - ・ 緑ラベル…スマートフォン用 (microUSB端子)
 - ・ 青ラベル…FOMA・SoftBank3G用
 - ・ 黄ラベル…au用
- ※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。
- 取扱説明書/保証書(本書)



携帯充電ケーブル



携帯接続コネクタ



5 LEDライトの使い方

1. ⑥「ライトON/OFF」スイッチを「ON」側へスライドさせると点灯します。
2. 切る時はスイッチを「OFF」に戻してください。



注意 LEDライトは直視しないで下さい。視力障害の原因になります。

6 ラジオの使い方

1. ⑦「FM/AM切換スイッチ」をお聴きになりたいバンドにスライドさせて下さい。
2. ④「ラジオスイッチ/音量ダイヤル」をLEDライト方向に回すと「カチッ」と音がしてラジオの電源が入ります。さらに回すと⑩「スピーカー」から音が出ます。適当な音量に調整して下さい。
3. ③「FM/AM選局ダイヤル」を回してダイヤルに印刷されている周波数を目安にお聴きになりたい放送局に合わせて下さい。
4. ラジオを切る時は④「ラジオスイッチ/音量ダイヤル」をストラップ方向に回しに「カチッ」という音が聞こえるまで回して切して下さい。これで電源が切れます。

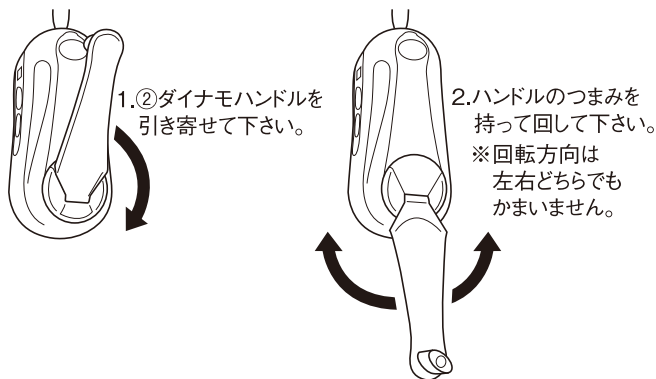
- ※音を小さくしただけでは電源が入ったままになり、電池の電力が消耗します。必ず「カチッ」と音が鳴るまでダイヤルを戻してください。
- ※ラジオ電波はその特性上、場所によって受信しにくい場合があります。その際は本体を電波の受信状況の良い場所を選んで使用してください。
- ※AM放送をお聴きの時は本体の方向を変えて、最も受信感度の良い状態でお楽しみ下さい。又、FM放送をお聴きの時は、⑤ハンドストラップ(FMアンテナ)を動かして感度の良い状態でお楽しみ下さい。

7 ダイナモハンドルの使い方

※ダイナモハンドルを回転させると内部の蓄電池に充電されます。

- 1.LEDライト、ラジオがOFFになっていることを確認して下さい。
- 2.②「ダイナモハンドル」を本体から引き出し、ハンドルのつまみを持って回して下さい。ハンドルを回す向きは、左右どちらでもかまいません。

※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。





ダイナモハンドルを強く押さえないで下さい。ハンドルが破損する恐れがあります。



ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。ケガをするおそれがあります。

◎ダイナモハンドルによる充電の目安

※手巻きハンドルを120回転/分のペースで回して下さい。

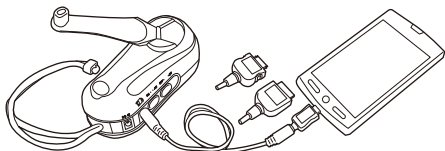
機能	240回転(2分)	備考
LEDライト	約30分	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約45分	徐々に音量が小さくなります。
携帯電話	約30秒～1分	連続通話時間
	約60分	連続待ち受け時間

※上記はいわゆる「ガラケー」と呼ばれる携帯電話を使用した場合の参考値です。(スマートフォンやアイフォーンには適しません。)お使いになる携帯電話によってバラつきがありますので、あらかじめご了承ください。

8 携帯電話の充電

※携帯電話への充電はハンドルを回している時のみ可能です。ケーブルやコネクタをつなぐだけでは充電できませんのであらかじめご了承ください。

1. 本体側部の⑧携帯充電ジャックに、付属の「携帯充電ケーブル」の先端プラグを差し込んで下さい。
2. お手持ちの携帯電話の接続端子のタイプに合わせて付属の3種類のコネクタからお選び下さい。
3. コネクタを「携帯充電ケーブル」に接続して下さい。
4. コネクタを携帯電話に接続して下さい。



5. ダイナモハンドルをつまみ部分を持って回転させると充電が開始されます。
 6. 必要に応じて1分～3分程度充電して下さい。
([ダイナモハンドル充電の目安]参照)
- ※3種類(青ラベル・オレンジラベル・緑ラベル)のコネクターを使用される場合、表/裏に注意ください。ラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下向きにしてさし込んでください。さし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。
 - ※ドコモ/ソフトバンク3G用(青ラベル)を抜く時は両サイドにある押し込み用ツマミを充分に押してから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)
 - ※au用(オレンジラベル)を抜く時は裏側にある押し込み(PUSH部)をしっかりと押し込んでから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)
 - ※緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
 - ※回転の方向はどちらでもかまいません。ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。
 - ※あまり早く回したり、力を入れすぎたりしないようにして下さい。ハンドルの破損や不具合の原因になります。
 - ※携帯電話機の電池残量がゼロの場合、100～200回転ほどしてからでないと充電が始まらない場合がありますので、あらかじめご了承ください。(充電が開始されるとハンドルが少し重く感じます。)



ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。ケガをするおそれがあります。

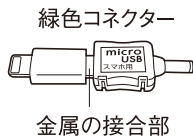
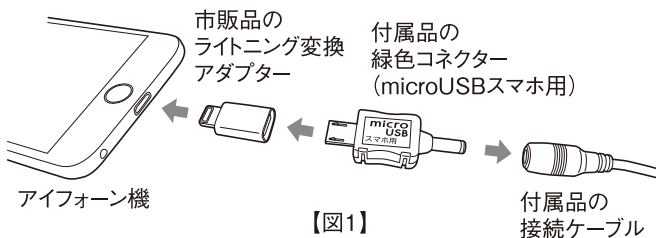
◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ（30ピンタイプ及びライトニングタイプ）は付属していません。

付属品の緑色microUSBコネクタからライトニングへの変換アダプターを使用する。

※市販品のライトニング変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ（microUSBスマホ用）の先に差し込み、iPhone機のライトニング充電端子に差し込んでください。【図1】

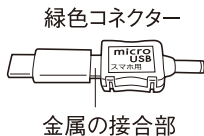
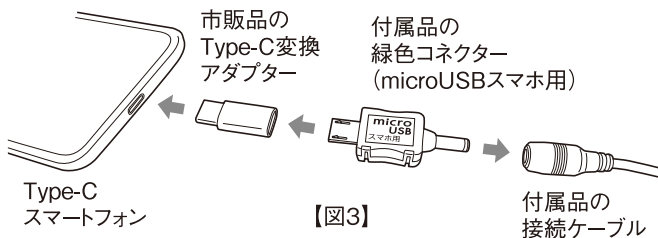
※付属品の緑色ラベルコネクタ（microUSBスマホ用）の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図2】



- ◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。
※Type-Cコネクタは付属していません。

付属品の緑色microUSBコネクタからType-Cへの変換アダプターを使用する。

- ※市販品のType-Cへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図3】
- ※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図4】



【図4】

携帯電話充電の際の安全上のご注意



ダイナモハンドルは安定したスピードで!

禁止

携帯電話を充電される際は、ダイナモハンドルを安定したペースで回してくださいようお願いいたします。携帯電話の充電ランプ(または充電中などの画面表示)が点灯しますと携帯電話に充電されています。速く回し過ぎたり、遅く回したりすると電圧/電流が不安定となり適切な充電ができなくなりますのでご注意ください。(1秒間に2~3回転が目安です)万一、携帯電話に異常が見られた場合、純正の充電器をご利用になって安定した電圧電流でしばらく充電していただきますと、通常の状態に戻ります。



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくこと強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使い下さい。



禁止

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご使用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使い下さいますようお願いいたします。

○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- スマートフォンやアイフォーンを充電するとき、ハンドルを回してすぐに「このアクセサリはサポートしていません」のような表示が表れる場合があります。手巻きの場合はどうしても回転ムラにより電圧/電流が不安定となりやすく、特にスマートフォンではこのような表示がでる傾向にあります。この場合は一旦充電動作を止め、少し早めに安定したスピード(2~3回転/秒程度)で、なるべく回転ムラのないように一定のスピードでダイナモハンドルを巻きなおしてください。充電可能となります。それでも再び表示が出るようでしたら充電はお止めください。
- タブレットシリーズに充電できません。

最近のスマートフォン、アイフォーンの場合は内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、本機のダイナモ発電では充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

9 AC/DCアダプターを使用する場合(別売り)

1. 本体側部の⑨「DC-INジャック」の端子にアダプターのプラグ先端を差し込んで下さい。
2. アダプターの本体をコンセントに接続して下さい。これで充電が開始されます。(満充電の目安は約3時間です。)
3. 3時間したらコンセントから抜いてください。

◎AC/DCアダプターにて本体へ充電する場合

満充電するには約3時間必要です。

機 能	連続使用時間	備 考
LEDライト	約5時間	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約3時間	徐々に音が弱くなります。

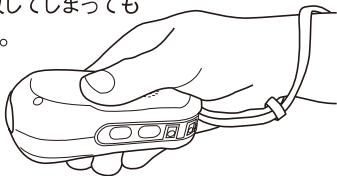
10 仕 様

- 受信周波数 AM: 540~1600kHz
FM/ワイドFM: 76~108MHz
- ラ イ ト 白色LED/1灯
- ア ン テ ナ FMワイヤーアンテナ(ストラップ内に内蔵)、
AM内蔵フェライトバー
- ス ピ ー カ ー 0.5W/8Ω
- DC-INジャック 4.5V/300mA
- ダイナモハンドル 本体・携帯電話充電用
- 電 源 内蔵ニッケル水素電池(Ni-MH、3.6V/120mAh)
- 材 質 ABS樹脂、他

ハンドストラップについて

※本機のストラップは落下防止のため「リストアジャスター」が装着されています。

ストラップを手首に通したあと、この「リストアジャスター」を手首側に絞ってお使いになると、誤って手をすべらせたり、手を放してしまっても本機を落とす心配がありません。



警告



注意

- 点灯中のLEDライトを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 小児の手の届かないところに保管して下さい。
- 本製品を分解・修理・改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 携帯時や保管中に、不用意にスイッチが押されてオンにならぬようご注意ください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れるおそれのある場所での使用は絶対におやめ下さい。

※ケガや故障の原因になりますので、上記を必ずお守りいただいた上でご使用下さい。

製品保管時のご注意

本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなるおそれがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電による充電を行うようにしてください。